

シシリムカ 文化財だより

平取町立二風谷アイヌ文化博物館・沙流川歴史館

2025. 7. 25

No. 27



平成 30 (2018) 年度に「平取町かわまちづくり」事業で、紫雲古津方面の文化的景観を知るための解説サインが設置された

紫雲古津の文化的景観を学ぶための視点場

さるがわ

しうんこつかわむかい

平取町の南端近くの沙流川に架かる紫雲古津川向大橋の周辺は、平取町の自然や歴史を深く知るための一拠点です。紫雲古津は金田一京助によるアイヌ語研究の主要なフィールドとして有名になった土地です。主に明治後半代から大正初期以降、ワカルパやコポアヌといった地域住民の協力を得て様々なユカラ（英雄叙事詩）等が収集され、アイヌの奥深い文芸世界が広く発信されました。紫雲古津の住民と金田一の交流は、氏の随筆集である『ユーカラの人びと』（平凡社ライブラリー 495）に掲載されていますので、ぜひご一読ください。

大橋付近の沙流川河床は良好なサケの産卵場です。また、近くにあるアイヌ語の沢である「シウンコッ」は、安政五（1858）年に紫雲古津を訪れた松浦武四郎によって「むかし此川にて鱒が多く取れし時に、此処にて油を取りしによって此名有とも云り」という聞き取り情報が書き残されています。つまりアイヌ語地名としては「スム・ウン・コッ」（油脂・ある・沢）という解釈が可能性として考えられます。アイヌの遺跡であるシウンコツチャシ跡には、トパットゥミ（夜襲）の伝承が伝えられています。その中では、十勝のアイヌがチャシに攻めてきて、沙流川の対岸にあるシリ沢からチャシまで延々と夜襲の列ができたことが述べられています。

沙流川下流域を深く学ぶための探訪スポットとして、ぜひこの視点場をお楽しみください。

（長田佳宏）



京都市・宇治市の観光まちづくりから学ぶ

2025 年 5 月、文化財課は京都・宇治で開催された「全国文化的景観地区連絡協議会」に参加し、宇治や京都市内のまちづくりを実際に歩いて見学しました。

歩いて楽しい宇治のまち

宇治といえば、やっぱり平等院とお茶。JR 宇治駅を出ると「平等院まで徒歩 10 分」の案内があり、道沿いはきれいに整備され、散策が楽しくなる工夫がいっぱいです。途中には、宇治茶の歴史や文化を伝える「上林記念館」があり、古い建物を活かした展示が印象的でした。

二風谷も徒歩で気軽に巡れます。二風谷コタン周辺から旧マンロー邸までは徒歩約 8 分、さらにユオイチャシ公園までは 18 分と、散策ルートとしての可能性を感じました。



▲「徒歩10分」がわかりやすい案内表示

▼ARが加わると、ぐっと臨場感アップ！



ARでよみがえる景観

京都市内の蹴上インクラインでは、かつての運搬船が展示されていて、QRコードを読み取ると、AR映像で船が動き出します！当時の様子をリアルに体験できる工夫に感心しました。さらに、近くの工事現場の仮囲いには、インクラインに関わった人々の紹介パネルもあり、歩きながらふと立ち止まって歴史に触れられる工夫がされていました。

このAR技術、二風谷にも活かそうです。ユオイチャシ公園でARを使い、アイヌの歴史を体感できる場になるかもしれません。

(黄 浩然 地域おこし協力隊)

あなたの写真が展示に！

2025 年平取町立二風谷アイヌ文化博物館特別展「二風谷の記憶—くらしと観光—」では、昭和 30 年～ 60 年代の観光ブームの中で撮影された二風谷の写真をとおして、当時のまちの風景や人々の営みを紹介します。

展示では、地域のみなさまの写真も活用し、より多くの視点から当時の二風谷を伝えたいと考えています。ご提供いただいた写真は、展示の中で紹介させていただきます。「うちにもあるかも？」と思った方、ぜひお知らせください。

(守屋 李佐子)

応募条件

- ・昭和 30 年～ 60 年代の二風谷の様子（風景・観光・くらしなど）が写っているもの。
- ・人物が写っている場合、本人またはご家族等の承諾が得られていること。

その他・注意事項

- ・写真は、スキャン（デジタル化）して博物館の資料として保管します。
- ・タブレットやパネルで展示します。
- ・写真はスキャン（デジタル化）したのち、返却します。

応募方法

- ①メールアドレス
ranko@town.biratori.lg.jp（担当：守屋）
- ②SNS
Facebook (@NibutaniAinuCultureMuseum) または Instagram (@nibutani_ainu_museum) のメッセージ
- ③電話・FAX
TEL 01457-2-2892 FAX 01457-2-2828（担当：守屋）

◇沙流川歴史館企画展・移動展終了

4月22日（火）から6月8日（日）まで沙流川歴史館で、また6月10日（火）から29日（日）までふれあいセンターびらとりで令和7年度沙流川歴史館企画展及び移動展を開催しました。今回は『過去から今へー平取の発掘とまちづくりー』をテーマに、昭和58年から平成26年にかけて町内24か所で行われた発掘調査のうち、日々の生活になじみ深い施設や道路ができた場所にある11か所の遺跡を紹介しました。発掘調査の概要や発掘前と現在の様子を比較した写真、町内で確認されている遺跡127か所の分布図などを展示しました。

沙流川歴史館には町内で発掘された多くの出土品を常時展示していますので、土器や石器など遠いむかしの人々の暮らしを想像してみてはいかがでしょうか。（津川貴晃）

見学者の感想

- ・とても面白かったです。町の移り変わりを発掘という目線で見ることがなかったので興味深いです。
- ・この周辺にたくさんの人の営みがあったことに大変驚いています。面白かったです。この辺を散策してみたくくなりました。
- ・北海道の地域性が土器や文化期に現れていて興味がわいた。冬場の生活はどうだったか、考えるだけでも大変だったと想像がつく。
- ・地域の身近なチャシの事が詳しく知れて良かったです。出土品の復元されているのが実際に見られて良かったです。



見学の様子



発掘された出土品（収蔵展示室）



展示風景（ふれあいセンターびらとり）

◇沙流川歴史館特別展開催のお知らせ

10月7日（火）から11月30日（日）まで令和7年度沙流川歴史館特別展を開催します。今回は、町の保存樹や未来に残したい樹木を紹介する展示を行いますので、ぜひご来館ください。現在、展示する予定の「未来に残したい樹木（き）」を募集していますので、皆さんが未来に残したいと思う「推しの木」がありましたら、沙流川歴史館までご連絡ください。

◇沙流川歴史館一般利用のご案内

沙流川歴史館の企画展示室とレクチャーホールは、一般の団体、個人の方が展示会や講演会等で利用することができます。当館や町などの主催事業以外の期間、無料で貸館しています。ただし、営利目的や入場料等を徴収する場合は原則利用できません。詳しくは沙流川歴史館へお問い合わせください。



学芸員のへや④

木彫り熊のルーツ

「学芸員のへや」第4回は、守屋が担当します。今回のテーマは木彫り熊のルーツ。

木彫り熊には、大きく分けて八雲町と旭川市の2つの系譜があるとされています。今回はそのはじまり……八雲町での誕生に焦点を当ててご紹介します。



「開拓移住者上陸の地」（遊楽部川河口）
尾張徳川家旧家臣たちが名古屋から船を乗り継ぎ、
1878年10月12日にこの場所に上陸した。

尾張徳川家と遊楽部

北海道南部の八雲町は、1878年に尾張徳川家第17代当主・徳川慶勝^{よしかつ}が北海道開拓使から山越内村字遊楽部^{ゆうらつぶ}の土地を与えられたという歴史があります。旧家臣団を移住させることで士族の生計を図り、住宅整備や農地開墾が進められました。このとき設置された「徳川家開墾地試験場」は、のちに「徳川農場」として整備され、それから木彫り熊が作られるようになります。

八雲町での木彫り熊のはじまり

1908年には第19代当主・徳川義親^{よしちか}が八雲町をはじめて訪れ、以降は農場の経営に携わるようになります。義親は熊狩りを毎年の恒例とし、案内役はユーラップコタンのアイヌの人々が担っていました。狩猟を通して農民やアイヌの厳しい生活の状況や環境を目の当たりにした義親は、冬の農閑期に取り組める副業を模索し、農民美術運動を進めることに



八雲町の木彫り熊（八雲町木彫り熊資料館）

つながります。1922年のヨーロッパ旅行でスイスに立ち寄った時に木彫り熊に出会います。これに着想を得て帰国し、農民やアイヌの人々に制作を勧めたことにより、八雲町での木彫り熊制作がはじまったとされています。

（守屋李佐子）

次の お知らせ

次回、西学芸員担当回では、平取町に残る樹木の歴史について紹介します。
守屋担当回では、旭川市における木彫り熊のルーツについてお話しします。
お楽しみに！

アイヌ語を覚えてみよう ㊤

イランカラプテ！（こんにちは！）

今回は、サク（夏）に関するアイヌ語を、萱野茂のアイヌ語辞典（三省堂）から紹介します。

【アシ / 閉じる、閉める】

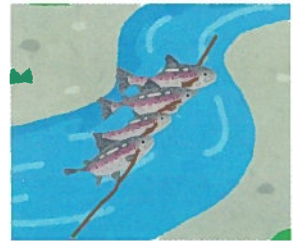
サク アナクネ アパ マッケ ワ アン コロ キキリ アフナ アパ カ プヤラ カ

アシ ワ アヌ＝夏は戸が開いていると虫が入るから、戸も窓も閉めておけ



【サキペ / マス】

▷サク＝夏 エ＝食べる ペ＝物 →サキペ ポロンノ ア・ウク ヒ タ アナクネ ハップン
カラ ア・トゥイエ モクラプフ ア・エタラレ ワ ナイ ペシ ア・モムカ コロ ポロンノ ア・
ルラ エアシカイ ペ ネ＝マスをたくさん獲った時はブドウのつるを伐ってマスのえらぶたに
通し、沢の中を流すとたくさん運べる物だよ。



【シリスム / かんばつ（である）、日照り（になる）、不作（である）、冷害】

タン サク アナクネ アプトー カ イサム シリスム コロ ヘマンタ ア・エ クス＝今年の夏
は雨も降らない。日照りになり不作だったら何を食べるんだろうか。



【トポンラ / 水苔、藻】

サクネ ポンナイ アサム トポンラ ウシ コロ ポロワッカ アン ペ ネ＝夏に小沢の沢底の水
苔が多くつくと洪水になるものだ。

これらのアイヌ語表現からも夏の情景がいきいきと想像できますね。読み物としてもとても
面白い「萱野茂のアイヌ語辞典」を皆さんも是非、手に取ってみてください。

ヤクン パクノ ネ。スイ ウヌカラン ロー！（それではここまでです。またお会いしまし
ょう！）
（生涯学習課 関根健司）

沙流川流域の野鳥たち No.15

観察難易度：★☆☆☆

オオハクチョウ

カモ目カモ科ハクチョウ属

学名：Cygnus cygnus

英語名：Whooper swan

アイヌ語名：retatcir【レタッチリ】ほか

大きさ 全長140cm(翼を広げると205～275cm)

体重 7.4～15kg

生態 ユーラシア大陸の北部で広く繁殖^{はんしよく}。日本へは冬季に北海道から東北にかけて飛来し、主に太平洋側で越冬する。その際の中継地としては北海道の風蓮湖^{ふうれんこ}、ウトナイ湖^{おだいとう}、尾岱沼^{いずぬま}などがあげられ、主要な越冬地としては宮城県では伊豆沼^{いずぬま}、新潟県では福島潟^{ふくしまがた}、瓢湖^{ひょうこ}などがある。

食性は草食性が強く、水中や水面の水草を採餌したり、陸上で落ち穂や青草を食べる。

鳴き声 コー、コーとやさしく鳴いてから、互いに首を上下させ、賑やかに「コホー、コホー」と鳴き交わす。オスとメス、家族同士も「コーコー」と鳴き交わす。

生息場所 湖や沼、大きな川、河口、内湾などで生活している。番^{つがい}と前の繁殖期に孵化した幼鳥^{ふか}と親鳥からなる家族群が行動の単位で、それらの集団が数十羽から数百羽の群れを作って生息する。



写真：新冠町 太田裕子氏提供



写真：平取町 森岡健治氏撮影

アイヌの伝承の中のハクチョウ

- ①あるアイヌの子供が、鉄砲で撃たれたハクチョウを見て以来氣を失って倒れてしまうようになりました。占いをしてもらくと、ハクチョウの神がきちんと送りの儀式をされなかったことに対して腹を立て、その子に取りついたのでわかりました。おはらいをしたら治りました。
- ②春4月頃、ハクチョウが村の上を通るとおばあさんは「もう氣候が暖くなる」と言っていました。秋にも飛来しますが、その時は「ハクチョウの神が村を見ながら通り過ぎていくときは、神が聞いているのだから何でもかんでもむやみにしゃべるものではない」と言われました。

(参考文献：国立アイヌ民族博物館 アイヌと自然デジタル図鑑 伝承者 織田ステノ)

今年4月、にぶたに湖ではコクチョウの姿がありました。本来、日本では見かけない鳥なので珍しさもあり、飛来しているときはカメラを持った人が訪れていました。



にぶたに湖に飛来したコクチョウ
(笠原早百合)

開拓財産 ～むかしのどうぐ～

【アイヌ民族と近代開拓】

テーマ1：学校(9)
長知内小学校②

秋田県鹿角郡花輪町（現鹿角市）出身の奈良農夫也は、青森県の畜産学校で獣医の資格を得た後で、明治44（1911）年に長知内簡易教育所の4代目校長として赴任しました。アイヌ児童の出席の奨励など、教育に尽力したことにより大正3（1914）年に日高教育会長から表彰されました。

奈良は翌4（1915）年6月15日の長知内簡易教育所の新校舎開校時に地域住民から感謝状と銀時計を贈呈されます。また、校歌を作り、新校舎設立の喜びを児童らと分かち合いました。

同氏はアイヌの民俗に関心を寄せており、『平取外八箇村誌』（平取外八箇村小學校組合編1917）に『日高國沙流川上流山間の一アイヌ部落（長知内郷土資料）』を寄稿し、長知内村における大正5（1916）年当時のアイヌの生活費や、自身が作詞した長知内簡易教育所の校歌などを紹介しています。奈良は昭和2（1927）年まで同校で勤めた後で消息不明となりました。秋田県の本籍地においても同氏の死亡に関する記載を見つけることはできませんが、近代平取のアイヌ教育に貢献した人物として、その名が記録されています。

（廣岡絵美）



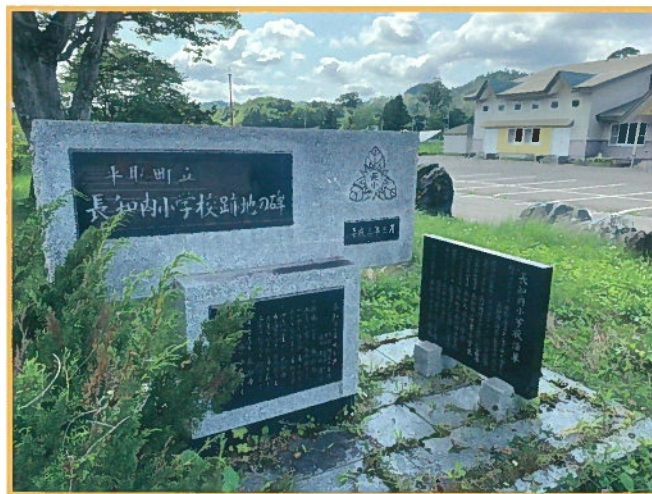
▲ 奈良農夫也の肖像画。出典：渡辺惇 1994『北荒の黒百合 コタンの教員・奈良農夫也の生き方』転載。

長知内簡易教育所校歌（奈良農夫也作）

日高國は沙流郡 平取部内の長知内
こゝぞ吾等が住む所 山うるはしく水清し。
戸數五十に足らねども 住めば都の譬（たとえ）あり
わが父おはし母おはす なつかしき里長知内。
けふ六月の十五日 わが學び舎の新しき
祝の式の……
人みなつどううれしさよ。

十有餘年屋根朽ちて 雨漏り軒は傾きし
古き校舎を立ち出でゝ こゝろ新しき庭ひろし。
大正四年の春暮るゝ 札幌宮のおほまつり
全道祝ふけふの日に わが學びやのわご成りぬ。
古き衣を脱ぎ捨てゝ 古き心の穢れをも
そゝぎて共に學ばなん 窓も明るき新校舎。

（＊原文のまま掲載）



▲ 長知内小学校跡地に設置された記念碑。令和4（2022）年撮影。

◀ 上掲の『日高國沙流川上流山間の一アイヌ部落（長知内郷土資料）』に掲載されている校歌

平取町開拓財産資料館（平取町字荷負77-3） 見学のご案内

【開館日時】＊変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日（祝日休館） 9：00～12：00

上記以外のご見学についてはお問い合わせください。

【ご予約・問合せ先】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892

または 沙流川歴史館 ☎01457-2-4085

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

■第31回特別展

「二風谷の記憶—くらしと観光—」

期 間：9月17日（水）～11月30日（日）

場 所：二風谷アイヌ文化博物館

休館日：11月17日（月）、24日（月）

○特別展期間中、ぬり絵の体験展示に参加された方にオリジナルステッカープレゼント！

■アイヌ文化体験学習講座

～アイヌ文様をつくってみよう～

期 間：7月27日（日）～8月25日（月）

内 容：木彫体験、刺繍体験

講 師：二風谷民芸組合所属アイヌ工芸師

場 所：二風谷工芸館

体験料：無料

■旧マンロー邸一般公開（1階のみ）

期 間：5月1日（木）～10月31日（金）

○見学希望日の1カ月前までに二風谷アイヌ文化博物館へお申し込みください。追って見学の可否をご連絡します。

*10名以上の団体のみ *平取町職員が同行

■平取町文化的景観現地説明会

「沙流川流域のチャシ跡をめぐる」

日 程：10月26日（日）午後

場 所：平取町内

講 師：長田佳宏（二風谷アイヌ文化博物館長）

沙流川歴史館

■特別展

「未来に残そう大切な樹木 保存樹と推しの木」

期 間：10月7日（火）～11月30日（日）

場 所：沙流川歴史館企画展示室

入館料：無料

休館日：毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日）

平取町

■第56回チブサンケ

期 日：8月23日（土）・24日（日）

問合先：平取町役場観光商工課

TEL 01457-3-7703

■平取町・二風谷国際先住民族フォーラム2025

テーマ：先住民族の参画による環境・景観保全と文化ツーリズム

一般公開日程

○9月27日（土）9：00～18：15

シンポジウム①、特別報告、琉球芸能特別公演

○9月28日（日）9：00～14：30

シンポジウム②

場 所：沙流川歴史館レクチャーホール

問合先：平取町役場アイヌ施策推進課

TEL 01457-2-2341

2025年7月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

2025年8月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2025年9月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

2025年10月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

● 歴史館 休館日

■ 博物館 特別展

■ 博物館・歴史館 特別展



シシムカ文化財だより No. 27

2025年7月25日発行

編集・発行／平取町教育委員会文化財課

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

北海道沙流郡平取町字二風谷 55

TEL 01457-2-2892

FAX 01457-2-2828

E-mail nah@town.biratori.lg.jp

HP <http://www.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/nibutani/>

アイヌ文化博物館
Instagram/Facebook 更新中！



沙流川歴史館

北海道沙流郡平取町字二風谷 227-2

TEL 01457-2-4085

FAX 01457-2-4086

E-mail sar.muse@town.biratori.lg.jp

沙流川歴史館
Instagram 更新中！

